

みんなで支えあい生涯現役をめざし集落維持 (農事組合法人 琴麓 (きんろく))

<法人の概要>

所在地：島根県飯石郡飯南町野萱

設 立：平成 22 年 3 月

資本金：100 万円 売上高：2,592 万円 (H25)

構成員（議決権）：農業従事者 26 名（100%）

役 員：4 名（うち農作業従事 4 名）

従業員数：常時雇用者 21 名（農作業従事希望構成員）

経営面積：27.8ha（うち所有 0ha、借入 27.8ha） 基幹農作業受託面積：0ha

作付作物：水稻 19.3ha、米粉用米 3.9ha、飼料作物 3.2ha、その他野菜 1.2ha、(H25)



「鉄穴流し」跡に造成された谷間水田、左方地平線部に用水路が走る（標高 400～600m に農地展開）



環境保全型直払導入による冬季湛水

<集落営農組織化に至った経緯・動機>

減反強化に伴う集落内調整問題化、遊休地発生増加など山村集落運営への不安。

<集落営農組織化から法人化まで>

H10. 3：「灰屋営農集団」設立、当初 9 戸参加。減反強化に伴い集落内の話し合いを円滑に進めることや、圃場管理や機械作業の軽度な協業化開始。

H12. 5：中山間地域直接支払事業開始とともに、「一集落一農場をめざし、誰もが生涯現役で農業に携わっていて良かった」と思えるシステムづくりを目指し、「琴麓営農組合」設立、集落全戸（25 戸）参加、組合規約作成。灰屋営農集団の成果を見て全戸参加に至る。

H21. 4：エコロジー栽培開始。

H21. 12：法人化にむけて集落内同意を得る。

H22. 3：「農事組合法人 琴麓」設立。

＜特徴的な取組＞

- * エコロジー栽培（水稻、大豆、そば）実施。H23 年度から冬季湛水、リビングマルチ導入
- * コスト削減のための資材共同購入（種子、育苗土、農薬、肥料、燃料油）
- * 大型機械導入（施肥田植機、トラクター、コンバイン（2 台）、乾燥機（2 台）
- * 作業安全対策：作業者傷害保険加入
- * 土づくり（エコ栽培）：牛糞堆肥施用
- * 農地維持：基盤整備、排水、水路、農道、畦畔保全、田面修復等
- * 耕作放棄予防：和牛放牧
- * 景観保全、転作対応：ソバ栽培の積極的導入
- * カバープランツ導入実証：研修後、シバザクラ、ヒメイワダレソウ、センチビートグラス等導入実証

＜今後の農業経営の展開方向＞

集落維持のため、組合員の生涯現役を目指すも、高齢化の進展に伴い大型機械作業から若手オペレーターへ移行。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

○都市部から離れた条件の悪い中山間地域を対象とする場合

- * 集落員みんなで支え合いながら経営していかないと、集落そのものが滅亡する。
- * 若い方などが専門的に農業を考える場合、施設栽培や大型畜産など高所得が期待される分野に重点をおく。水稻作は高齢者や現役引退組などを主にすると、人間関係を含め比較的うまくいくように思う。



カバープランツ（シバザクラ）導入実証



防草シート設置による畦畔雑草対策